

## 専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第4回総務部会
開催日時	平成 28年 4月 26日 18時 30分 ~ 20時 55分
開催会場	名寄市立大学 恵陵館 3階239教室
出席委員	長内部会長、中尾副部会長、白井副部会長、高木委員、寺尾委員、梅野委員、山上委員、深井委員、姉崎委員、三澤委員、東野委員、熊谷委員、早川委員
事務局出席者	臼田部長、佐々木課長、木村課長、荒井課長、岡村支所長、田原主幹、石橋課長、渡辺主幹、成毛主査、菊池主査、山本主事
審議事項	<p>第2次総合計画に向けた施策検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「効率的な行政運営」、「健全な財政運営」、「広域行政の推進」、</li> <li>「人権尊重と男女共同参画社会の形成」、「市民主体のまちづくりの推進」</li> </ul>
発言内容	<p><b>審議事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■基本構想における基本理念について <ul style="list-style-type: none"> <li>○文言整理を確認</li> </ul> </li> <li>■効率的な行政運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>○計画行政の推進</li> <li>○職員の人材確保と定員管理 職員の能力向上</li> </ul> </li> </ul> <p>委員 優秀な人材の確保について、何をもって優秀な人材なのか？学力なのか？大手企業は、学力よりコミュニケーション能力を重視している話も聞くことがある。優秀な人材をどのようにして確保していくのか。</p> <p>事務局 点数が高いだけでなく、臨機応変な対応ができるかどうかも重要である。一定程度得点を取った方の中から、面接を実施している。今年度から、グループ討議を導入し、リーダーシップや協調性、課題解決に向けた意見を述べることができるかなど見分けていきたい。面接からコミュニケーション能力の高い方、民間企業で活躍した方など、優秀な人材を採用していきたい。</p> <p>委員 コミュニケーション能力が必要。得点をとれるだけでなく、相手の気持ちを理解して対応することが必要である。</p>

委員	面接など人前で話をするのは難しいことである。学力は一定程度必要であるが、コミュニケーション能力は、様々な経験をして、徐々に形成される能力であると思う。新卒者を採用する際、見極めが難しいと思う。
委員	施策の記載内容に賛同する。記載している内容を是非実施してほしい。
委員	熊本震災で、小・中学性がボランティアで水汲みなどしていると新聞で見たが、人助けをする良い経験をしていると思う。 ボランティア経験は、社会に出た際、すぐに役立つものであるため、面接でもボランティア活動の状況も参考にしても良いと思う。
委員	名寄市の職員採用で民間企業経験者採用枠はあるのか？
事務局	民間枠は特に設けていない。
委員	学生枠、大学枠などはあるのか？
事務局	その枠も決めていない。応募者の中で人選している。
委員	民間企業経験者は、経験が豊富であり、優秀な人材と考えられる。民間枠の採用を検討したら良いと思う。
委員	KPIなどの専門用語に用語解説はつけるのか？
事務局	わかりやすい表現で用語説明を入れていきたい。
委員	職員採用について、専門職と行政総合職では異なると思う。総合職はコミュニケーション能力が必須であるが、天文台など専門職は専門能力が高い方を見定めていただきたい。
委員	都市部に就職を希望される方が多いとの話であったが、名寄市の職員採用は定員割れになっていないか？
事務局	定員割れはない。
委員	総合職は異動もあり、色々経験して成長すると思う。異動があるがゆえに苦手な分野で能力発揮できない場合もあると思うので、適材適所で人員配置をお願いしたい。仕事が増えてきて、人員バランスも崩れてくると思うが、適宜調整し、適正配置を心がけていただければと思う。 中堅、管理職など、先輩が仕事のやりがいを示して、後輩を指導して欲しい。
部会長	出された意見については市への提言とさせていただき、「効率的な行政運営」の記載内容については承認してよろしいか。 了承

## ■健全な財政運営

○財政の健全性の確保 財政運営の効率化

委員 名寄市は大変な中でも、健全に財政運営を行っていると思う。遊休地を有効に活用するためにも、企業誘致などを積極的にできないのか？名寄市は雪や寒さはあるが、自然災害は少ない。IT 関係でサーバーなどを置くには適している。優遇措置をとってでも企業誘致を積極的に取り組んでいただき、遊休地の活用なども検討していただきたい。

事務局 データセンターなどは、空港までの距離など多くの制約がある。遊休地活用は検討が必要だと認識している。企業誘致については産業経済部会で検討がされている。

委員 行政評価システムは必要であるが、目標値はどのレベルで設定するのかで大きく変わってくる。設定する財政指標はどのように決めるのか？国の指示や他の自治体の状況などを勘案して決めているのか？

事務局 財政規律について、これまで明確に定めていなかった。今後の財政状況から財政規律は定めていく必要がある。  
国では指標をもっているが、名寄市の、北海道内および上川管内での位置付けや、自治体規模に見合った数値設定などについて検討していきたい。

委員 市民感覚と行政の感覚では異なると思う。なかなか難しい問題である。

部会長 「健全な財政運営」の記載内容について承認してよろしいか。  
了承

## ■広域行政の推進

○圏域市町村との連携の推進 交流自治体等との連携の推進

委員 定住自立圏の救急医療や福祉は、地域包括ケアシステムと関連してくる。理念や施策は関連があるものの、横のつながりがまだ確立できていないのではないかとコミュニケーションをとることで、効率的な行政運営に繋がるのではないかと。さらに、横のつながりも再構築してはどうか。

事務局 効率化の為には、横のつながりは必要である。事業を進める上で、必要な見直しを（PDCA）、しっかり行い対応していきたい。

委員	<p>広域連携は、最も重要なものではなかと感じている。前回資料で近隣市町村からの名寄市へ求めるもの、最も期待しているのは医療であり、医師派遣や救急医療体制などが求められている。</p> <p>その他、高齢者の交通手段など含めて求められていると思う。</p> <p>交通の確保も記載されているが、総務部会だけの議論ではなく、他市町村との議論もあるが、充実していただきたい。</p>
事務局	<p>道北の医療含め核となる都市として、将来像の中にも覚悟を込めている。</p> <p>道北の交通網について、命の道でもあることから、市の総合計画に記載するわけにはいかないが、道北の中心市として、国、道にも働きかけていきたい。</p>
委員	<p>交通ネットワークについては、定住自立圏スタート時から周辺町村から相談があったと聞いているが、その後どのような状況であるのか？</p>
事務局	<p>定住自立圏の協定に際しては様々な問題があり相談しながら進めてきた。交通については、自治体間だけでは解決できないものもあり、国や道とともに進めていく必要がある。協定以外でも連携しているものはあり、示せるものは協定で示していく。</p>
委員	<p>中心市の記載は名寄市としてよいのではないかな？</p>
事務局	<p>定住自立圏では名寄市と士別市が共に中心市宣言しており、制度上の表現として中心市としている。</p> <p>定住自立圏でいう中心市の要件は人口5万人以上となっているので、名寄市と士別市、複眼型中心市となっている。</p>
委員	<p>廃棄物処理施設の広域利用について実態は？</p>
事務局	<p>「炭化センター」と「し尿処理施設」、建設中の最終処分場がある。</p> <p>最終処分場は、名寄市、下川町、美深町、音威子府村で建設を進めている。</p>
委員	<p>施策の基本的な方向性について、「共同」は「協働」ではないかな？</p>
事務局	<p>都市と地方は「共同」、市民と行政は「協働」と考える。</p>
部会長	<p>「広域行政の推進」の記載内容について承認してよろしいか。</p> <p>了承</p>

## ■人権尊重と男女共同参画社会の形成

○人権教育、啓発活動の推進

○男女共同参画社会の推進

- 委員 この通りであるが、表現にインパクトが足りないと感じる。意思・政策決定する際に女性の参画・活躍がなければ世の中が変わっていかない。強制的であっても具体的な数値目標が必要である。場が与えられなければ変わらないので、あらゆる分野において、具体的に記載できればインパクトが出る。法律が制定されたが、実態はなかなか進展していかなかった。しかし、ようやく条例が制定されたこともあり、具体的なものを入れ込むと変わってくると思う。
- 委員 理解するが、文言にすることが難しい。
- 委員 女性の進出はなかなか難しいと思う。保育業界も女性が中心のように見えるが国の会議などの場は男性ばかり。数値目標を定めると数字を追うことになってしまう面がある。大切なのは女性の活躍や参加を促す環境や仕組み作りだと感じる。男性の育児休暇など積極的な取得なども推進していかなければ、変わらないと思う。
- 委員 障がい者や男女の規定を作らなければならないこと自体、社会が未成熟だと感じるが、推進するためには規定が必要になっている。人権も含め、差別に対する若年層からの教育も必要。「あらゆる分野」という表現も可能な範囲で具体例を示していただければインパクトが出てくると思う。
- 委員 女性の議員が半数である自治体で、子育て施策が充実した具体の例もある。女性の管理職も増えたが、数合わせではなく、政策決定の場において女性の活躍が望まれる。
- 委員 人権擁護委員の人数が8名から7名に減ることがあるのか？
- 事務局 国の定数規定があり、人口2万人から3万人は7名、3万人から4万人は8名となっている。合併によって定数が多い場合は、欠員が生じるまでは現状維持できることから、8名のままとしている。
- 委員 名寄市の青少年センターで人権の相談ができるようだが連携はしているのか？
- 事務局 青少年センターの人権相談については、法務局が中心となって行っており市はその支援を行っている認識している。
- 委員 今後情報交換などできるよう体制確立をお願いしたい。

部会長 多くの意見があった。例えば「意思決定の場」などの文言を追加して整理が可能か否か？

事務局 条例を制定し、かなり進歩したと感じている。多くの委員からご意見をいただいたので、本文の中で調整できるのか用語解説で「ポジティブ・アクション」をわかりやすく前向きに表現し示していくのか、事務局で預からせていただき、方向性を示していきたい。

部会長 基本事業の本文、または用語説明の中で文言整理をしていただきたい。多くの意見が出されたが、基本事業を否定はしていない。文言の追加があれば捉え方が変わると思うので、検討いただき次回再度示して頂きたい。

委員 「推進」が多い。「実施する」と記載できないか。

事務局 そこも含めて文言整理を行い再度示させていただく。

## ■市民主体のまちづくりの推進

- 広報広聴活動の充実と情報公開
- 市民参画と協働の促進 コミュニティ活動の推進

委員 1次計画で地域自治区が文言として入っているが、地域自治区は現実的に難しいというのが町内会に関わっている立場からの率直な感想。  
地域連絡協議会の先に地域自治区があると思うが、地域連絡協議会の活動もまだ十分ではなく、地域連絡協議会の活動を充実させる方が先である。そういった状況から考えると2次計画では地域自治区の表現は削除してもいいのではないか。人口3万人程度の自治体で実際に地域自治区を目指すことは難しい。地域連絡協議会は、単位町内会の役員が運営しているが、さらに、地域団体や事業所などにも枠を広げ、活動していければスムーズな活動に繋がると思う。そのような内容などを具体的に入れることを検討してはどうか。

委員 7年前に町内会が統合されたことにより、活動拠点にずれが生じている。高齢化社会であり、地域の中ではネットワーク推進委員が動かなければ見守り含め目が届かない状況である。地域の拠点となる場所があれば、集まって活動できるなどメリットが生まれてくる。

委員 市役所の職員が町内会活動に入ってくると、町内会は過度な期待をする。そのことが、若手職員の重荷になるのではないかと思う。  
今後10年後を見据えて、中堅・若手職員が積極的に町内会活動に関われば変わってくると思う。今後のコミュニティなどについて研修の中で取り組んでいくことで、若手の意識も変わってくると思う。教育委員会関連職員の町内会入会率が低いと聞いているが、色々な方の意見を集約できる体制が必要。

委員	若い世代の町内会未加入、高齢者とコミュニケーションとらない現状で、都会での事例では、LINE を使って、若者と高齢者がつながる事例がある。ICT を活用して、若者と高齢者がつながる町内会 LINE などがあればよいと思う。また、遊具破損などのお知らせも情報共有しやすい。ICT 活用したコミュニケーションにより、コミュニティ活動を推進していけると思うので明文化できないか。
委員	情報は色々あるが、独居老人含めると ICT 活用は難しいかもしれないが、どう繋いでいくかだと思う。
委員	まずはやってみることからはじめなければと思う。そうすれば繋がってくる。
委員	パソコン持っていない方も多くいる。最近ようやく携帯メールができるようになったばかりの方もいる状況。広報等ほとんど紙媒体で周知している。
委員	町内会の特性によって周知の方法を変えなければならない。 また、町内会でも子供が減ってきていて、活発な活動が出来ないところが出てきているようである。
委員	子どもの数は減ってきているのは確かで、活動自体が縮小してきている。
事務局	基本事業のコミュニティ活動の推進の中で自治意識と地域の連帯感を高め…と記載している。連帯感をどう高めるのかということで、ICT の活用というキーワードをいただいた。 総合計画、基本事業を推進する為に、個別事業を実施していくわけですが、具体の施策実施の際に参考とし検討をさせていただきたい。
部会長	具体的な施策の中では対応可能ということでお話がありました。
事務局	それ以外でも連帯感を高める方策について、具体の施策検討する中で参考とさせていただきたい。
委員	町内会で若い方が減っていることを実感する。町内会ってなんだ？メリットはなんだと言って入会しない人がいる。まず、町内会について説明が必要であり、町内会に入会して、何が得られるのか示すものがあればありがたい。 以前、大学生と話をした際、町内会入会の仕方がわからない方もいたので、積極的に周知して欲しい。 保護者と学生と町内会で安心な関係が築けないか。町内会で学生の困り事相談を受けたり、保護者と町内会で連絡を取れるような仕組みがつくれれば、保護者も安心であり、学生の町内会入会のメリットとなり得る。
委員	学生同士のコミュニティではなく、世代を超えたコミュニティはよいことだと思う。名寄の学生は地方の方が多いのであれば大切なことかもしれない。
委員	検討の余地はある。転入者に対する町内会周知を応用できるのでは。

	<p>事務局 転入者には、それぞれの町内会を紹介している。 大学生へは入学のオリエンテーションでも情報提供したい。</p> <p>委員 町内会入会率は落ちている。世代格差もあるが、若者、転勤族などの入会減少もあり、役員のなり手が少なく、高齢化しているのが現状である。単位町内会の活動が縮小する中、地域連絡協議会の充実が重要になってくる。 地域連絡協議会は防災など役割が明確になっている。 町内会の役員は、地域連絡協議会まで手が回らないのが現状。 事業所や地域団体に協力してもらおうとともに、市役所にも支援してもらいたい。市役所職員の地域連絡協議会へのスタッフ制度などを検討してほしい。</p> <p>委員 合併して10年が経過しており、社会情勢も変化している。人口減少、少子高齢化で役員のなり手が減少している。将来的には町内会組織の再編を望む声もでてくるかもしれない。地域連絡協議会の活動が十分ではない中、その先にある地域自治区創設は大変難しく困難な課題。厳しい財政の中で、そこに予算を組むことも難しいと考える。将来、地域連絡協議会の活動が充実し成熟してくれば、新たなものが見えてくると思う。積極的な市の支援もいただく中で、新たなコミュニティが見えてくると思う。 地域自治区は法律で縛られた組織。地域は法に縛られないコミュニティ活動を求めていると思う。現状を踏まえると地域自治区創設は難しい。合併して10年になり考え方を考える時期にきているのではないか。 町内会があり、地域連絡協議会があり、地域自治区も、となれば混乱もでると思う。</p> <p>委員 合併して10年が経過した。風連と名寄がひとつになるという意味でも、方向性を変えていくことでいいのではないか。</p> <p>委員 そのとおりだと感じる。地域自治区となれば、また、合併当時の思いに戻ってしまうと感じる。</p> <p>部会長 合併し一体感を持って頑張ってきている中、地域コミュニティを分ける必要はないということ意見だと思う。次回に向け文言修正をお願いしたい。 その他のご意見は、実施する個別事業の中で検討できるものが多かったと思う。</p> <p><b>その他</b></p> <p>事務局 次回の総務部会日程について 5月12・13・16日で調整中。今月中にお示しし、資料を事前送付したい。</p>
<p><b>決定事項等</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本理念の文言整理を承認</li> <li>○「効率的な行政運営」「健全な財政運営」「広域行政の推進」の施策につて了承</li> <li>○男女共同参画社会の形成、市民主体のまちづくりの推進については、文言整理をして次回再度示す。</li> </ul>